

こんな時だからこそ「自律心」が大切！

中央高校の生徒の皆さん、いかがお過ごしですか。昨年度末から数えると臨時休校が3か月目に突入しました。そこで今回は「自律心」について考えてみました。

少し失礼な言い方になるかもしれませんが、今までの学校生活は、ほとんど決められた授業や行事に対して、皆さんは受け身的な立場で臨んでいることが多くはなかったですか。それが当たり前でしたし、何も疑問を持たなくて良かったはずです。ところがここまで臨時休校が長引くとそうも言っていられなくなります。この現状を踏まえ、皆さんにはいろいろな場面で「自律」の心が求められています。

昼間定時制は学年・クラスがなく、校則も少なく比較的自由的な学校だとうたっています。けれども、制服がなかったり自由に授業を選択できたりしても、そこには「最後の責任は自分で取る」ことが待っていて、「責任ある自由」ほど難しいものはないと感じている在校生も多いのではないのでしょうか。つまり、自由な校風は、皆さんの自分で自分を律する「自律心」があるからこそ成り立っていると思います。今回、皆さんは家庭での学習や、家庭での生活にいつもより多くの時間を費やしています。学校にいれば先生たちの指導の下、皆さんの「自律心」は育まれるはずでした。それが今回の臨時休校で、生活の大半が家庭内に移り、そこで何を我慢し何を優先すべきかを自分で判断する「自律心」が様々な場面で要求されています。ですから皆さんにお願いします。中央生のプライド（誇り）を持って、自分の行動を正しく自分でコントロールする「自律」した生活を送ってほしいのです。それこそが「自律心」を大切にす中央生のあるべき姿だと考えます。

「好きを増やす」「挑戦する」「自分を褒める」「コロナに負けるな！」そして「自律心を大切に！」と、校長からの要求がどんどん増えています。消化し切れていますか？ 学校再開はもうしばらく先ですが、一日一日を大切に充実した毎日が送れることを願っています。中央高校の先生方はいつでも皆さんを応援しています。

**頑張れ！中央生！**

令和2年5月7日  
学校長 内木泰志

